

## 食用ミミズで世界を救う!! 『麗澤大学 おからみみず』

麗澤大学 馬淵瑛人氏、光山奈々依氏、有野快氏

2050年、人口増加に伴いたんぱく質の供給量が約二倍となり、需要と供給のバランスが崩れてしまう「たんぱく質危機」が予測されている。しかし現在の畜産業の在り方では自然環境に対して大きな負荷をかけてしまっており、たんぱく源の生産の増加は難しいとされている。

そこで私たちは環境負荷が少ない持続可能なたんぱく源を生産するため、ミミズに注目した。ミミズは飼育に必要なエサの量や温室効果ガスの排出量などがウシ・ブタ・トリに比べて非常に少なく生産でき、100gあたりに含まれるたんぱく質はこの3種と比べ2倍以上含んでおり、高たんぱくで環境に優しい持続的な新たなたんぱく源であるといえる。また甲殻類と類似成分を持つ昆虫と違い、ミミズには甲殻類アレルギーは心配ない

と言われている。

そんなミミズを私たちは年間3～6万トンが廃棄されているおからを餌に食用ミミズを生産し、粉末状にしてパン生地に練り込む。パンという身近な食べ物に混ぜ込むことで、ミミズを食のひとつとして受け入れてもらうきっかけになると考えた。このビジネスモデルを提案するにあたりミミズの研究者の方や幼稚園教諭の方とのミーティング、ミミズの養殖実験や市販の食用ミミズを練り込んだ「みみずぱん」の試作・試食会を実施した。

今回、未就学児を主なターゲットにしたのは成人に比べ抵抗感が少ないこと、栄養の欠かせない成長期であること、これからの世界を担う子供たちには実際の食を通して持続的な食育に取り組んでもらうことがこれ



チームメンバー

からの世界に大切だと考えたからである。

将来、私たちの食卓を彩る一つの選択肢としてミミズがある社会を創造していきたい。

### チーム「おからみみず」

麗澤大学SDGsフォーラム2021学生プレゼンコンテスト出場のために結成された3人組のチーム。その取り組みが評価され、学内では「最優秀賞」、学外のSDGs探究AWARDS2021では「審査員特別賞」を受賞。

2022年10月発行

編集・発行：地球環境パートナーシッププラザ  
http://www.geoc.jp/  
〒150-0001  
東京都渋谷区神宮前5-53-70国連大学1F  
Tel. 03-3407-8107 Fax. 03-3407-8164  
開館時間：10:00～18:00(火～金曜)  
※最新の開館情報はHPをご確認下さい  
10:00～17:00(土曜)  
休館日：日曜・月曜・祝日・年末年始

関東地方環境パートナーシップオフィス(関東EPO)  
〒150-0001  
東京都渋谷区神宮前5-53-67コスモス青山B1F  
Tel. 03-3406-5180 Fax. 03-3406-5064  
業務時間：10:00～18:00  
休業日：土曜、日曜、祝日、年末年始

デザイン：安食正之(北路社)  
印刷：株式会社野毛印刷社

### GEOC/EPOからのお知らせ

全国の環境パートナーシップオフィス(EPO)では、地域の特徴を活かした環境活動の活性化・パートナーシップによる地域づくり推進のため、時代や地域のニーズに合わせた様々な支援事業を行っています。その取組や役割についてまとめました。



環境で地域と つながる つなげる

### 環境パートナーシップオフィス(EPO)の紹介



2022年3月  
地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)  
環境省 民間活動支援室

つな環編集部

星野智子、尾山優子、江口健介、浦林貴子、高瀬裕子、鈴木良壽、今井麻希子(順不同)

つな環

検索

「つな環」はインターネットからもご覧いただけます。  
http://www.geoc.jp/information/tsunakan